

「『創造都市・浜松』推進のための基本方針」
アクションプログラム
(案)

平成 27 年 3 月

浜松市創造都市推進会議

目 次

I はじめに	P.02
II 課題と実践方策	P.04
III 実践方策のスケジュールとモニタリング	P.10
浜松市創造都市推進会議委員名簿	P.12
浜松市創造都市推進会議音楽専門部会委員名簿	P.13

(参考資料)

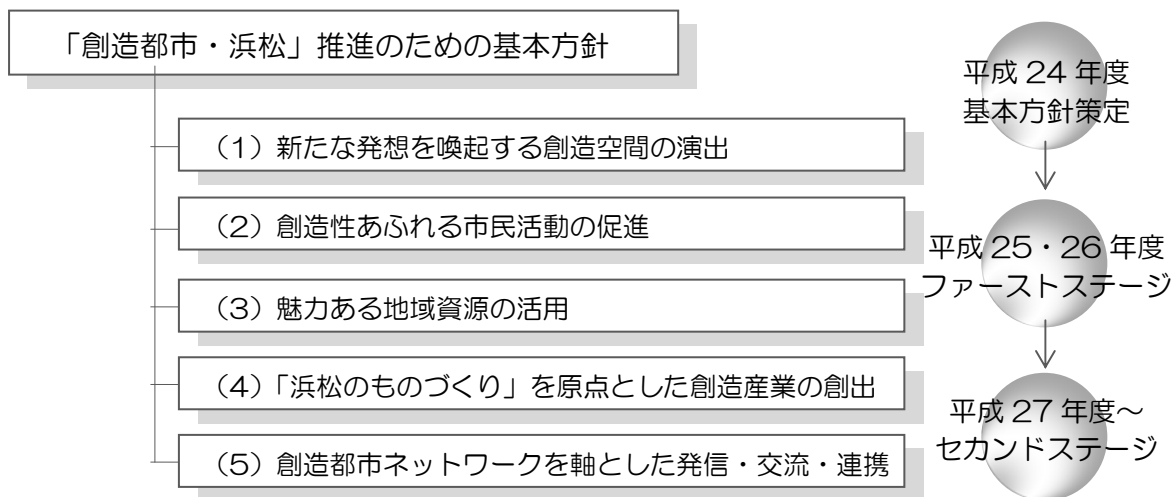
創造都市関連事業一覧

はじめに

■アクションプログラムの策定趣旨

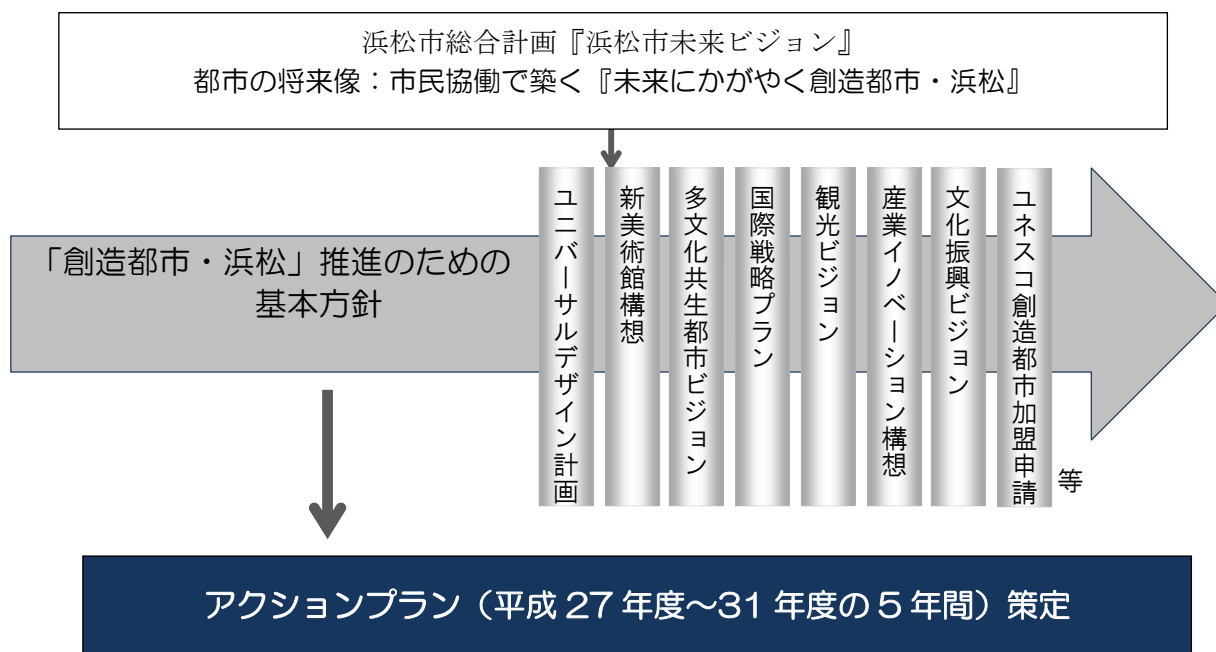
本市では平成 25 年 3 月に『創造都市・浜松』推進のため基本方針」を策定し、創造都市の意義を明確にし、目指す創造都市の姿や実現のための取組みイメージを示しました。

この方針に基づき具体的に事業を展開するにあたり、平成 25・26 年度をファーストステージ、平成 27 年度以降をセカンドステージと位置づけ、段階的に進めることとしています。



『創造都市・浜松』推進のための基本方針」は、最上位計画である「浜松市総合計画『浜松市未来ビジョン』」実現のために、各部署が作成する個別計画やビジョンなどを横断しながら「創造都市・浜松の推進」の視点でまとめたものです。

この基本方針に基づき、『創造都市・浜松』を推進するための具体的な事業の内容や手法、実施主体などを整理する行動計画として、「アクションプログラム」を策定します。



浜松市が目指す創造都市の姿

『創造都市・浜松』のための基本方針」では、「浜松市が目指す創造都市の姿」として以下の3点をイメージしています。

- ◆浜松のものづくりや音楽、多文化共生などの根底にある“やらまいか精神”“柔軟で寛容な市民性”が、まちづくりや暮らしに広く活かされていく
- ◆市民が常に新しい試みにチャレンジし、次々と新しい価値を生み出していく
- ◆創造的な人材や企業が集積し、日常空間を創造空間（魅力的な都市空間）に変え、市民の暮らしに刺激を与えていく

30年後の浜松は……

浜松市では、30年後の未来を見据えた総合計画「浜松市未来ビジョン」を平成27年度からスタートさせます。

30年後の浜松では、多様な次々と企業が生まれ、イノベーションの連鎖が起きています。ベンチャー企業などのスモールビジネスも好調で、建築や商工業デザインのクリエイターが活発に行動しています。

まちなかのコンサート、公共空間に置かれた絵画やオブジェ、中山間地に受け継がれる伝統芸能など多様な文化が、私たちの暮らしの質を高めています。

音楽を中心に創造性豊かな人材育成が行われ、世界を舞台に活躍する文化人が輩出するとともに、日本人市民と外国人市民がお互いの文化や習慣の違いを互いに認め合い共に生きるまちづくりを進めています。

そして、情報や資金が世界から集まるため、常に新しい価値が生まれています。

ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市として……

音楽都市としての本市の特長は、楽器産業をベースとして音楽のまちへの発展を遂げ、多くの市民が演奏や鑑賞の機会を楽しんでいること、世界的に高い評価を受けているコンクールを開催していること、洋の東西を問わず世界を公平に見て資料を収集し、文化的宗教的背景も含めた調査研究を行う楽器博物館を有することなどが挙げられます。

今後、ネットワークの中で本市に求められる要素として、アジアとヨーロッパほかの文化的架け橋となること、先端技術を活用した未来の音楽を創造発信することなどが想定されます。

課題と実践方策

本市の持続的発展のために、「『創造都市・浜松』のための基本方針」に挙げた 5 つの柱について課題を抽出し、このアクションプログラムの対象である平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間に創造都市の観点から特に注力すべき施策（コア事業）を示します。

各取組みの状況は浜松市創造都市推進会議で評価し、これを踏まえてプログラムの改訂へ反映させていきます。

(1) 新たな発想を喚起する創造空間の演出

【課題】

企業や市民主体の文化芸術事業の振興と拡充

- ・行政だけでなく、市民や事業者によるアーティスト育成（コンテストやライブハウス、スタジオなど）の振興を図る必要があります。

音楽を含む文化芸術事業の拡大と強化

- ・「音楽の都」を目指す本市では多くの音楽事業が開催されています。今後はさらに、他の分野の芸術との融合が期待されます。

創造的人材が集積する環境づくり

- ・アーティストの活動空間の充実が必要です。既存の鴨江アートセンターとの住み分けや連動による相乗効果が求められます。
- ・クリエイターの呼び込みのためにコンバージョンによる空きビルや空き家等の活用が期待されます。



【コア事業】

1-1 アクトシティ浜松管理運営事業

大・中ホール、展示場、会議室等と、楽器博物館やホテルによる大型複合コンベンション施設であるアクトシティのポテンシャルを活用し、ピアノコンクール、国際会議などを開催するほか、見本市・展示会などの民間事業の誘致により文化・産業の振興と交流人口の増加を図る。

実施主体：浜松市（現指定管理者：（公財）浜松市文化振興財団）

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

1-2 やらまいかミュージックフェスティバル開催事業

『市民が奏でる、市民が楽しむ、市民がつくる音楽祭』を合言葉に開催される市民手作りの音楽祭。毎年 10 月の第 2 土・日曜日を開催日とし、全国から集まったプロアマを問わない出演者が、中心市街地に設けられた屋内外の多数のステージで演奏を繰り広げる。

実施主体：やらまいかミュージックフェスティバル実行委員会

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

1-3 浜松市鴨江アートセンター管理運営事業

彫刻、絵画などのファインアートを中心とした文化芸術に関し、創作活動、市民の交流及び情報の発信を推進するための拠点施設として、アーティストインレジ

ダンスなどの事業を展開する。地元を中心とした、アーティスト・商店・地域・市民らがアートを通して集うイベント「アート・ルネッサンス in HAMAMATSU」では、中心市街地（ゆりの木通り、肴町、有楽街、板屋町など）、浜松城公園とともに会場となる。

実施主体：浜松市（現指定管理者：（一社）浜松創造都市協議会）

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

1-4 まちなかアート整備事業

New!

静岡文化芸術大学や浜松まちなかにぎわい協議会と協働により、まちなかにメディアアート等の仕掛けを設置することで、市民の創造性を喚起する場を公共空間に創出するとともに、まちなかの魅力向上を図る。

実施主体：浜松市

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

(2) 創造性あふれる市民活動の促進

【課題】

◆中間支援機能の充実

- ・人と人、活動と活動をつなぐ中間支援機能が必要です。また、都市部から中山間地域まで広く創造都市の考え方が浸透するための仕掛け作りが必要です。

人材の育成と活用

- ・音楽分野ではアクトシティ音楽院において学校や地域に指導者を派遣する事業などを行っています。今後は、音楽以外の分野でも浜松の文化及び産業を支えるためにアーティスト、クリエイターの育成、活用（学校や企業との連携）のためのコーディネート機能の検討が必要です。

◆インクルージョンの実現

- ・新たな価値観や発想を生むためには、文化や習慣の違いを超えた交流が必要です。練習、製作、発表など様々な場面でインクルージョン（社会的包摂）の考え方が重要です。
- ・一流の芸術に触れる機会があるとともに、市民一人ひとりの自らの意志による身近な文化活動への参加が誘発されることが期待されます。市民に根付いた文化、行政だけでなく市民が支える文化が必要です。



【コア事業】

2-1 中間支援組織やアーツカウンシル創設の検討

New!

ヒト・モノ・コトと場をつなぐコーディネート機能を備えた組織の設置や、行政や企業から一定の距離を保ち、幅広い分野の文化に関する助成事業やパイロット事業、政策提言などを行うアーツカウンシル（文化芸術評議会）も設置について検討する。

実施主体：浜松市創造都市推進会議

実施期間：平成 27 年度～

2-2 みんなのはままつ創造プロジェクト

市民団体や企業が主体的に実施する創造的な取り組みについて、スタートアップ

や発展的継続のために助成金や広報による支援を行う。多様な立場の市民の創造性を育み、事業の実現への協力を行う。

実施主体：浜松市

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

(3) 魅力ある地域資源の活用

【課題】

◆地域資源の掘り起こしとブラッシュアップ

- ・広域な浜松市には、産業面でも文化面でも人材面でも多岐にわたる強みや特色、優れた技術があります。各々の主体が連携して地域資源を活用することにより地域力の向上につながります。
- ・歴史や伝統文化を地域内での活動にとどめることなく、観光資源として情報発信するなど広く活用することにより保存伝承していく必要があります。

◆創造を誘発する街づくり

- ・複数の創造拠点をつなぐ街並みや空間などは、地域資源のポテンシャルを連動させる重要な要素となります。公共空間へのアート作品展示や、イベントと観光業、商店街によるコラボレーションが必要です。



【コア事業】

3-1 浜松商工会議所と JA とびあ浜松の連携

商業や観光業振興のための農業の活用や、商工業のノウハウを生かした農業の六次産業化をめざし、商工会議所と JA が連携する。全国初の農商工会議所として、地域資源活用の最大限の相乗効果を図る。

実施主体：浜松商工会議所・JA とびあ浜松

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

3-2 浜松国際ピアノコンクール開催事業

世界各国の新進ピアニストに日頃の研鑽の成果を競い合う機会を与え、その育成を図ることにより、音楽文化の振興と国際交流の推進に寄与することを目的とし、「音楽の都・浜松」を世界に向けて発信するもの。

実施主体：(公財) 浜松市文化振興財団・浜松市

コンクール開催年度：平成 27 年度・平成 30 年度

3-3 多文化共生センター運営事業

国際感覚を醸成するための人材育成事業や多文化共生 MONTH の実施、多様性を活かした地域特性、多様な人材とのネットワーク構築などを行う。

実施主体：浜松市

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

3-4 無形民俗文化財活性化事業

保護団体の外部公演の支援、連絡会の運営を行うとともに、地域祭典での活動の様子などについて動画撮影と保存を行う。撮影した動画により、英語やフランス

New!

語での紹介映像を制作する。

実施主体：浜松市

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

3-5 都心の遊休不動産利活用促進事業

遊休不動産等の既存ストックを活用し、新たな都市型産業の集積及び雇用の創出を図ることを目的として、官民連携による遊休不動産活用に向けたリノベーションスクールを開催する。

実施主体：浜松まちなかにぎわい協議会・浜松市

実施期間：平成 27 年度～平成 28 年度

(4) 「浜松のものづくり」を原点とした創造産業の創出

【課題】

◆既存産業を支える基盤技術の振興

・浜松は、幅広い文化を支える基礎技術が集積する世界でも有数の地です。文化芸術だけでなく、光エレクトロニクスや ICT 分野も創造産業です。現在の産業を支えるのみならず次代の文化を育てるためにも、浜松の強みである産業への支援が必要です。

文化からビジネスへ

・文化事業の産業への展開を促進する必要があります。音楽を例にとっても産業の幅は広く、製造、出版、イベント企画や舞台演出など多様な業種があります。

・既存の音楽事業から「デザイン」「サウンドスケープ」など様々に音楽の形を変えて事業が派生していくことが求められます。

起業の支援

・クリエイティブクラスを含むベンチャーが起業しやすい環境の整備、創業支援が必要です。



そこで……

【コア事業】

4-1 浜松マイスター推進事業

地域の優れたモノづくり技術の維持継承と、次世代産業を担う人材の育成を目的として、市内のものづくり基盤技術を支える技術者・技能者の中から、特に優れた技術を有し、人材育成に熱意がある方を浜松ものづくりマイスターに認定し、市内企業や学生への技術指導、インターンシップやセミナーなどの人材育成活動を行っていただく。

実施主体：浜松市

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

4-2 成長産業創出支援事業

はままつ産業イノベーション構想において、戦略的に支援すべき産業分野の一つとしてデジタルネットワーク・コンテンツ分野を定め、革新的な技術・製品の事業化開発を行う中小企業に対して支援を行うことで地域産業を牽引する成長産業の創出を図る。

実施主体：浜松市（（公財）浜松地域イノベーション推進機構に委託）

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

4-3 創造文化産業振興事業

創造的ネットワークの形成に向けた人材の掘り起こし、ネットワーク化を行うとともに、構想検討会議において、コーディネーターや拠点の必要性等、浜松型モデルの構築に向けた検討を行う。はままつくすデザイン会議を開催。

実施主体：浜松市

実施期間：平成●年度～平成●年度

(5) 創造都市ネットワークを軸とした発信・交流・連携

【課題】

Win-Win となる他都市との交流と連携

- ・一過性のイベント事業だけでなく、文化振興や産業強化につながる都市間ネットワークを活用した連携事業の実施が必要です。
- ・文化振興のみならず、調査研究や技術開発などあらゆる面からの交流が求められます。

◆情報発信の強化

- ・都市間ネットワークを活用し、交流を誘発するための「浜松ブランド」の積極的な発信が必要です。



【コア事業】

5-1 創造都市ネットワークへの参画

これまでのポーランド・ワルシャワ市などとの音楽文化事業での交流に加え、ユネスコの創造都市ネットワークへ音楽分野で参画することにより、ボローニャ市をはじめとした世界の音楽都市と人材の交流をする。また、国内では創造都市ネットワーク日本の加盟都市として、音楽だけでなくメディアアートやデザインに強い札幌市や名古屋市などと交流する。併せて、中国や韓国の都市と産業、観光、文化を含めた相互交流を目的として、東アジア文化都市へ立候補やインドネシアバンドン市との連携も検討する。

実施主体：浜松市、浜松市創造都市推進会議

実施期間：平成 27 年度～平成 31 年度

5-2 音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議開催事業

音楽文化を通じた地域の活性化と新たな価値創造を果たしていくための国際会議を平成 27 年に開催する。ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請書に記載した事業であり、ユネスコの理念である音楽を通じた国際理解の促進、文化的多様性の実現に具体的に貢献していくとともに、翌年度の世界（民族）音楽の祭典へとつなげていく。

実施主体：実行委員会を組織予定

実施年度：平成 27 年度・平成 30 年度

New!

5-3 世界(民族)音楽の祭典 in 浜松開催事業

平成 27 年度に開催する「音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議」に基づき、「世界音楽」をキーワードに“多文化共生と音楽を融合した新しい形の音楽祭”

New!

を平成 28 年度に開催し浜松から世界に情報発信する。本市が音楽文化交流を進める友好都市、2014 浜松世界青少年音楽祭参加都市、ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野加盟都市等と連携した国際音楽イベントとして本市のユネスコ創造都市ネットワーク申請書にも記載した浜松市の戦略的事業である。

実施主体：実行委員会を組織予定

実施年度：平成 28 年度

5-4 海外の大学との人材交流・共同研究

大学の設置理念である「国際社会に貢献する開かれた大学」の実現に向けて、交流協定を締結したイタリアのボローニャ大学をはじめイギリス、アメリカ、韓国、中国、フランス、インドネシアの大学と交流事業を展開する。学生の留学のほか、教員の共同研究も行っていく。

実施主体：静岡文化芸術大学

実施年度：平成 27 年度～平成 31 年度

5-5 インバウンド推進事業

アジア地域をはじめとした海外からの観光客誘致のため、都市間交流の推進と新規マーケット開拓、トップセールス等を行い、本市の国際的認知度の向上を図り、外国人観光客が快適な観光を楽しめるよう、受入態勢を構築する。

実施主体：浜松市、(公財)浜松観光コンベンションビューロー

実施年度：平成 27 年度～平成 31 年度

実践方策のスケジュールとモニタリング

■スケジュール

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
1-1 アクトシティ浜松管理運営事業					
1-2 やらまいかミュージックフェスティバル開催事業					
1-3 浜松市鴨江アートセンター管理運営事業					
1-4 まちなかアート整備事業					
2-1 中間支援組織やアーツカウンシル創設の検討					
2-2 みんなのはままつ創造プロジェクト					
3-1 浜松商工会議所と JA とびあ浜松の連携					
3-2 浜松国際ピアノコンクール開催事業					
3-3 多文化共生センター運営事業					
3-4 無形民俗文化財活性化事業					
3-5 都心の遊休不動産利活用促進事業					
4-1 浜松マイスター推進事業					
4-2 成長産業創出支援事業					
4-3 創造文化産業振興事業					
5-1 創造都市ネットワークへの参画					
5-2 音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議開催事業					
5-3 世界（民族）音楽の祭典 in 浜松開催事業					
5-4 海外の大学との人材交流・共同研究					
5-5 インバウンド推進事業					

コア事業確定後に記載します

■モニタリング

「創造都市・浜松」の現況を把握し、次期の事業展開につなげていくため、以下の項目について継続的にモニタリングを行います。浜松市創造都市推進会議では、モニタリングを踏まえて、必要に応じてアクションプログラムを改訂していきます。

項目	内容	現況
文化事業への市民満足度	市民アンケート（※2）で、「音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み」に対して「満足」及び「やや満足」と回答した割合	33.0 % (平成 26 年度)
創造産業従事者数 1	総務省統計局「経済センサス」より抜粋	11,354 人 (平成 21 年度)
新規事業所届出件数	浜松市税務総務課発行による「浜松市の市税のすがた」のうち、法人市民税諸届出件数	設立 506 設置 296 (平成 25 年度)
創造都市市民認知度	市民アンケート（※2）等により今後認知度調査を行う	未調査
観光交流客数	浜松市観光交流課調査による、宿泊客数及び観光施設、スポーツレクリエーション施設、観光行事、イベント等への入場者数・参加者数の集計	16,589,757 人 (平成 25 年度)
外国人宿泊客数	浜松市観光交流課調査による、市内ホテル・旅館 75 施設の外国人宿泊数集計	135,783 人 (平成 25 年度)
創造都市ウェブサイトアクセス数	今後設置する浜松市創造都市推進会議のウェブサイトに対するアクセス件数	未設置

1 記載した数値は「経済センサス」平成 21 年度調査。平成 24 年度調査については、業種の細分類が公表されていないため創造産業を抽出することができず。このほかに国勢調査があるが、5 年ごとの調査。（前回調査が平成 22 年度、次回調査は平成 27 年度）

2 市民アンケートは例年 6 月に実施。

浜松市創造都市推進会議委員名簿

	分野	選出母体・役職	氏名
会長	学識	静岡文化芸術大学 文化政策学部長	根本 敏行
副会長	行政	浜松市 企画調整部長	寺田 賢次
委員	関係団体	(公財)浜松市文化振興財団 常務理事	和久田明弘
	産業	浜松商工会議所 理事・産業振興部長	柰屋 英夫
	市民団体	(一社)浜松創造都市協議会 理事長	桧森 隆一
	行政	浜松市 産業部長	安形 秀幸
監事	学識	静岡文化芸術大学 デザイン学部長	海野 敏夫
	行政	浜松市 市民部文化振興担当部長	川嶋 朗夫
オブザーバー	行政	浜松市 企画調整部創造都市推進担当課長	影山 伸枝
		浜松市 企画調整部国際課長	石塚 良明
		浜松市 市民部文化政策課長	森田 孔二
		浜松市 産業部産業振興課長	瀧下 且元
		浜松市 産業部観光交流課長	石川 淳

浜松市創造都市推進会議 音楽専門部会委員名簿

	分野	選出母体・役職	氏名
部会長	学識	静岡文化芸術大学 文化政策学部 芸術文化学科 教授	梅田 英春
委員	学識	静岡文化芸術大学 デザイン学部 生産造形学科 教授	峯 郁郎
	産業	ヤマハ株式会社 人事・総務部 副部長	中村 勝也
	産業	株式会社河合楽器製作所 取締役・常務執行役員	金子 和裕
	産業	ローランド株式会社 コミュニケーション統括部長	相原 靖
	市民音楽活動	(公財)浜松交響楽団 副理事長	岡部比呂男
	市民音楽活動	浜松フィルハーモニー管弦楽団 常務理事・事務局長	小林 昌史
	市民音楽活動	浜松市吹奏楽連盟 副理事長 浜松海の星高等学校 吹奏楽部 音楽監督	土屋 史人
	市民音楽活動	浜松市合唱連盟 副理事長 浜松ライオネット児童合唱団 団長・指揮者	初村 則子
	市民音楽活動	やらまいかミュージックフェスティバル実行委 員会 代表役員 ドルチェ・ウインド・オーケストラ音楽監督	清水 和宏
	市民音楽活動	浜松学芸高等学校 芸術科講師 アクトシティ音楽院主催者育成セミナー講師	高橋由美子
	関係団体	静岡文化芸術大学 理事	伊熊 元則
	関係団体	(公財)浜松市文化振興財団 文化事業課 課長	後藤 康志
	関係団体	(公財)浜松市文化振興財団 楽器博物館 館長	嶋 和彦
オブザーバー	行政	浜松市 企画調整部企画課 創造都市推進担当課長	影山 伸枝
	行政	浜松市 産業部 産業振興課長	瀧下 且元
	行政	浜松市 市民部 文化政策課長	森田 孔二